

□ 8月分の給与日に添えて…

■人生には、「まさか」「こんなはずじゃなかった」と予期せぬ出来事が多くあります。新型コロナウイルスの世界的パンデミックもその一つですが、感染がいよいよ身近に迫ってきています。そんな環境の中で、人手も足らず、目まぐるしいスケジュールで、頑張ってくれている皆さんに、労いと感謝の気持ちでいっぱいです。

■「てのひら」の強みの1つは仲間同士の助け合いだと思います。どんな時も相手の立場や状況を受けとめて、お互いに理解しようと行動できるスタッフたちを、私は誇りに思っています。

■「てのひら」の理念として「優しく、頼もしく、美しく」を掲げていますが、共有する場面が少なく、会社が何を目指しているのか将来の像について詳しく伝えることができずにいました。今回、紙面を使わせて頂きまして、会社として私の想いを、伝えます。

◇てのひらの目指す未来(ビジョン)

安心して暮らせる居場所をつくり、かけがえのない「今」を「生きる」を支え続ける

◇てのひらの使命(ミッション)

優しく、頼もしく、美しく、てのひらの「看とりの心」を実践して、社会へ発信していく

※「看とりの心」とは

- ①人間愛に満ち溢れた豊かな発想ができる
- ②自身の死生観をもち、語り合える
- ③暮らしと尊厳を守り支えることができる
- ④声なき声を聴く力を備える事ができる
- ⑤ユーモアの精神で人の心を和ませることができる
- ⑥「人間愛」を軸にした「看とりの心」を学び続けることができる

■日々、訪問にまわることで精一杯で、研修の場や語り合える時間を捻出できずにいますが、更なる医療、看護、リハビリの専門職の実践を深めていき、訪問看護の質の確保や、個人とチームが成長して行けるよう、みんなで相談して工夫していきたいと思っています。

てのひらは開所して8年目を歩んでいます。

素晴らしいスタッフも揃い、ようやく、未来設計をする時期を迎える事ができています。

■私は、今後、「てのひら」を基盤として、事業の存続、更なる発展のため全力を尽くす覚悟でいます。

また、

「ホームホスピス」の事業もてのひらと関連しています。

人間愛と、いのちの尊厳を追求し続けて会社運営していきたいと言う、私の想いがあります。

今後、ホームホスピス設立に関して、進捗情報をみなさんと共有していくつもりです。

□愛が鍾まる株式会社に所属して下さっているみなさんの笑顔と幸せのために、これからもマネージャーと共に邁進して参ります。

追伸> 年々、歳を重ねて老いていく道中にいますが、みなさんの若いエネルギーをお借りして知恵を出し合い、輝いて生きていけるよう、常にどこもかしこも磨いていきましょう！

今月も暑い中お疲れ様でした。

2022年9月9日

呉静恵